

巻 頭 言

学長 引田 弘道

この度、『愛知学院大学心理学部紀要』創刊号が刊行されますこと、誠に喜ばしい限りで心よりお祝い申し上げます。

心理学科は昭和45年（1970）4月、文学部の中に宗教学科と共に開設されました。愛知学院大学は曹洞宗設立の大学であり、設立の趣旨を具現化すべく文学部宗教学科を開設しましたが、宗教と関係の深い「人間のこころ」も併せて学ぶ必要性から心理学科が開設されることになりました。当時東海地区では心理学科は名古屋大学にしかなく、また全国的にも稀有な、先進的な学科でした。

平成15年（2003）心理学科は文学部より独立し、新しく心身科学部心理学科となりました。その趣旨は「人間のこころの問題を身体から切り離すのではなく、こころと身体の深い関わりを総合的にとらえ、現代社会に不可欠な“こころと身体の特権家”を育成する」ことにあります。翌年の平成16年（2004）には健康科学科を増設し、文字通り「心身科学部」として再スタートいたしました。

爾来心理学科は健康科学科と共に、こころと身体とを同時に学びながら、多くの有意な人材を社会に輩出してきましたが、目まぐるしく変化する社会からの要請に応えるべく、令和4年（2022）4月、心身科学部から独立し、「心理学部心理学科」としてより充実した教育プログラムを有した学部学科へと発展しております。独立学部は「心理学の知見を強みとして、産業や行政、医療・福祉・教育など幅広い分野で活躍できる人材を育成すること」を目標に掲げております。

そのためのカリキュラムは第1段階で、認知・発達・人格・社会・統計という心理学の基礎的5領域でこころの仕組みの理解を深めると同時にデータサイエンスの基礎を学び、第2段階で、心理学から自分が分かる、ヒューマンスキルを磨く、他者との円滑なコミュニケーション、ストレスとの上手な付き合い方など、自己と他者とのバランスのとり方に重点を置いた教育を行い、第3段階で、心理学実践分野、多文化・共生分野、情報・ビジネス分野の3分野の専門教育を行うという、体系だった構造となっています。特に情報・ビジネス分野は、人間の行動やこころを科学的視点で学ぶものであり、今までの本学の心理学科にはなかったビッグ・データ、AI、VRなどの最先端の情報学や人間工学を学ぶことが出来ます。

いっぽう、大学院は昭和49年（1974）に、文学研究科心理学専攻修士課程、さらに昭和51年（1976）には博士課程を開設しました。平成18年（2006）、文学研究科心理学専攻を心身科学研究科心理学専攻に改組し現在に至っています。心理学専攻は基礎コースと臨床心理学コースに分かれ、前者は幅広い基礎研究を行い、研究者養成を目指します。後者は教育、医療現場でこころの支援を行う公認心理師、臨床心理士の養成を目指します。そのため実習の場として心理臨床センターを併設しております。どちらのコースとも碩学の教授陣が高度な研究・実践教育に邁進しておられます。

以上の学部、大学院における教育、研究の成果を発表する場として『愛知学院大学心理学部紀要』創刊号が発行されることは、愛知学院大学心理学部の研究者の層の厚さ、研究水準の高さを広く社会に公表する絶好の機会であり、今後の心理学部発展に資するものと確信いたします。教育と研究、さらに社会貢献は大学に課せられた使命であります。そのためには各先生方の活躍に負うことが必須であります。心理学の立場から幅広い視点で活躍され、その成果を将来にわたって紀要に発表して頂きたいと切に願っております。